

【学習の目標と学習方法】

- (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
 (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
 (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

授業について * 授業は、教科書の内容を中心に進めていく。 * 教科書、ノートは毎時間必要。その他の持ち物は教科係から知らせる。 * 知識事項の暗記だけでなく、自分の意見・考えを書くこと、発言することを重視する。さらに自分以外の人の意見や考えを理解し、視野を広げようとする姿勢を大切にする。	家庭学習では * 理解したことを定着させるためにも、授業で習ったことを家庭で復習する時間をとる。 * ドリルパークを積極的に活用しましょう。 * 宿題は、必ずやりましょう。 * 漢字・語句の意味・文法などの知識事項は繰り返し復習しておく。 * 日ごろから新聞やニュースに触れ、そこで自分の意見や考えをもつことは、国語力アップの基礎となる。
生徒のみなさんに * 板書を写したノートやプリントに自分の意見も書くとよい。また、自分とは違う人の意見も区別してメモするとよい。 * 積極的に取り組む。具体的には、発言、質問、話し合い、発表を積極的に行う。 * わからないところは、そのままにせず質問すること。 * 辞書を使いこなせるようになると、学びの速度が大きくアップする。	試験前はこうに取り組もう * 家庭学習に挙げている知識事項は毎日学習して、知識を積み重ねておく。 * 授業で学習したことを思い出しながら教科書を読み、プリントやノートを見て授業で取り組んだ課題を確認する。 * ワーク等を使って単元の理解度をチェックする。 * 解けなかった問題や、わからない問題は、先生や友達に聞いて解決しておく。

	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
評価観点	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解している。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を持とうとしている。
評価資料	・定期テスト ・小テスト ・授業観察 ・提出物（書写作品等）	・定期テスト ・小テスト ・授業観察（発言内容、発表、スピーチ等） ・提出物（作文、課題プリント、ノート等）	・授業観察（発言内容、発表、グループ活動への参加、取り組み状況等） ・提出物（ワーク、ノート、プリント等） ・定期テスト ・小テスト

1年	4月	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	書写20h 計140h
	言葉に出会うために 1学びを開く 書写19h	2新しい視点で 情報を生きる 16h	3言葉に立ち止まる 読書生活を豊かにする 書写18h	夏休み	4心の動き 16h	5筋道を立てて 17h	6いにしえの心にふれる 7価値を見いだす 読書に親しむ 書写25h	冬休み	8自分を見つめる 書写26h	まとめ 3h		
2年	4月	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	書写20h 計140h
	1見えないだけ 広がる学びへ 18h	2多様な視点から 情報社会を生きる 14h	3言葉と向き合う 読書生活を豊かに 11h	夏休み	4人間のきずな 16h	5 論理を捉えて 6 いにしえの心を訪ねる 10h	7価値を語る 読書に親しむ 書写30h	冬休み	8表現を見つめる 書写37h	まとめ 4h		
3年	4月	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	書写10h 計105h
	世界は美しいと 1深まる学びへ 14h	2視野を広げて 情報社会を生きる 13h	3言葉とともに 読書生活を豊かに 書写22h	夏休み	4状況の中で 11h	5自らの考えを 書写19h	6いにしえの心を受け継ぐ 7価値を生み出す 読書に親しむ 15h	冬休み	7未来に向かって 12h	まとめ 9h		